

最後の力走 沿道声援

日向ひよっとこマラソン

ハーフの部で一齐にスタートするランナー。右奥はスターターを務めた加藤史帆さん。9日午前、日向市・お倉ヶ浜総合公園



日向市民らに長年親しまれてきた「日向ひよっとこマラソン」(日向市、市教委主催)が9日、第31回で最後の開催を迎えた。同市のお倉ヶ浜総合公園を発着点とするコースに県内外から約1400人が出場。沿道の声援を受け、景勝地の日向岬周辺を駆け抜けた。

ハーフの部のコースにアイドルグループ「日向坂46」にちなむ「日向坂」がある縁で、元メンバー加藤史帆さんがスターターを担当。昨年9月に宮崎市であった野外イベント「ひなたフェス2024」以来の来県

で、「宮崎は温かい雰囲気皆さん優しい。景色もきれいで心がほっこりする。初のスターターで緊張したが、間近で走る姿を見て私も元気が出た」と笑顔を見せた。

レースは2、5キロなど全6部で開催。ランナーは日向灘を眺めつつ高低差70メートルの起伏の激しいコースに挑んだ。ハーフの部を1時間7分56秒で制した佐賀市の佐賀大大学院1年、河野大毅さん(23)は「上り坂がきつかったが、景色がきれいで声援に励まされた」と話していた。

宮崎日日新聞

THE MIYANICHI

電子特報

2025年(令和7年)3月10日(月)

〒880-8570 宮崎県宮崎市高千穂通1-1-33

【購読申し込み】 ☎ 0120-37-3821

詳しくは11日付(火)以降の宮崎日日新聞をご覧ください。

韓国・台湾の魅力発信

みやざき空旅・国際線満喫フェア

韓国・台湾旅行のPRイベント「みやざき空旅・国際線満喫フェア」(県空港振興協議会主催)は9日、宮崎市のイオンモール宮崎であった。ガイドブックの無料配布やパネル展示などがあり、多くの家族連れが宮崎発着の国際便に関心を深めた。

有名観光地やドラマの聖地、おすすめのグルメなどが書かれた両国の計12種類のガイドブックを用意。パネルでは、パスポート取得費やグループ渡航、修学旅行費を補助する県の制度を紹介した。

2月末から3月初めにかけて韓国に行った人気ラジオパーソナリティーの濱田詩朗さんらによるトークショーもあり、宮崎との距離の近さや日本語が通じる場所が多いなど魅力を伝えた。



韓国・台湾旅行をパネル展示などでPRするイベント=9日午前、宮崎市・イオンモール宮崎

宮崎市瓜生野の会社員清水勝也さん(47)は「パスポート取得費の補助について知れてよかった。長男を食べ物がおいしく、遊べる場所もたくさんある韓国に連れて行きたい」と話していた。

テゲバ3連勝ならず 松本山雅と0-0

明治安田J3第4節最終日は9日、各地で4試合を行い、テゲバジャロ宮崎は新富町・いちご宮崎新富サッカー場で松本山雅と対戦し、0-0で引き分けた。3連勝は逃したが、通算2勝1分け1敗の勝ち点7で暫定3位とした。

テゲバは前半、6本のCKを与えるなど攻め込まれたが、守備で粘り無失点で折り返す。プレスを強めた後半は主導権を握り、FW橋本啓吾やMF奥村晃司がシュートを放ったが、あと一歩でゴールを割れなかった。

第5節は15、16日にあり、テゲバは16日午後2時から栃木シティとアウェーで対戦する。



【宮崎-松本山雅】前半、果敢にゴールを狙うテゲバのMF奥村